

浪岡バイパス(女鹿沢工区)が開通し国道7号の通学路の安全性が向上

- ・国道7号を利用している、女鹿沢小学校の生徒と先生にアンケート調査を実施し、『バイパスが開通して怖くなくなった』という回答が約4割を占め、通学路の安全性が向上しました。
- ・国道7号の交通がバイパスに転換し、国道7号の交通量が約9割減少しました。



▲歩道が狭く交通量も多い国道7号

▲バイパスへ交通が転換し
安全になった国道7号

【女鹿沢小アンケート調査による効果把握:生徒178名、先生16名】

■アンケートの内容

【生徒に向けて】

- ①BPができる前の現道(通学路)の感想
- ②BPができた後の現道(通学路)の感想
- ③できたBPの感想
- ④歩道の直してほしいところ

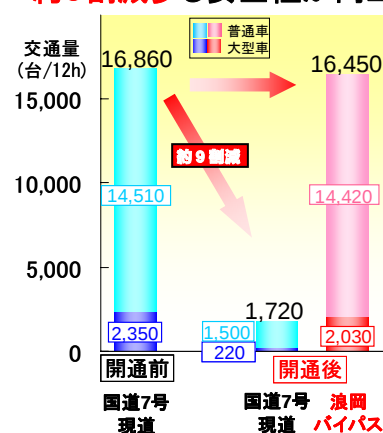
【先生に向けて】

- ①BPの利用有無と頻度
- ②BPが開通して良かったこと
- ③生徒の通学状況の変化
- ④現道(通学路)の直してほしいところ
- ⑤道路整備に対する要望

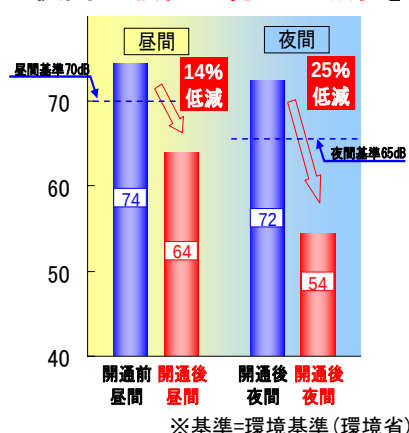
■アンケート記入の様子



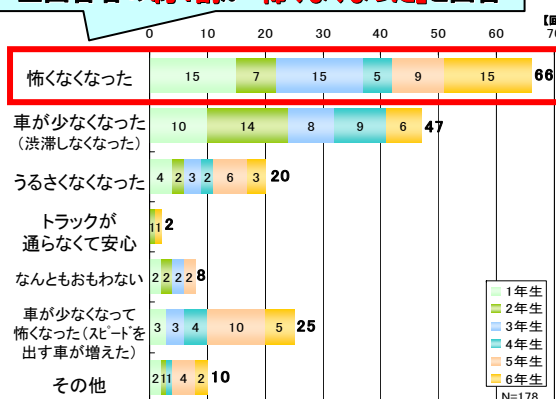
【国道7号の交通量が約9割減少し安全性が向上】



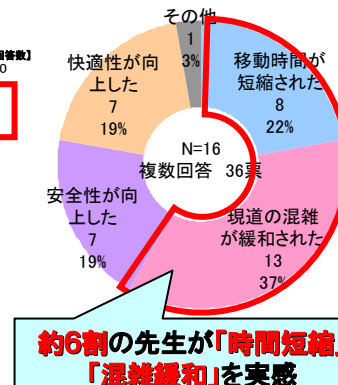
【国道7号の交通が減少し夜間の騒音が約25%減少】



全回答者の約4割が「怖くなくなった」と回答



▲バイパス開通後の現道の感想(生徒)



約6割の先生が「時間短縮」「混雑緩和」を実感

▲バイパスが開通して良かったこと(先生)

出典: アンケート調査結果(青森河川国道事務所)